

学年通信 第一号

平成21年5月1日

明秀学園日立高等学校 第1学年



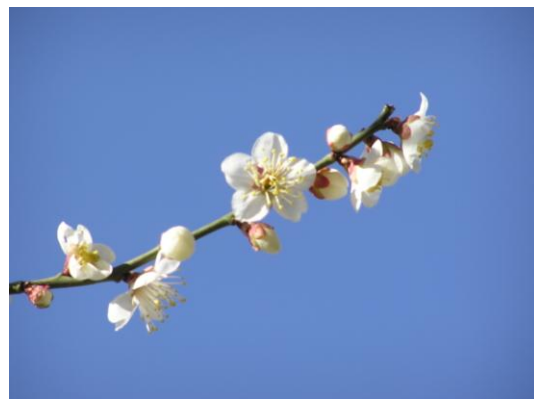
新緑の候、皆様方にはいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。
明秀日立生の諸君。新入生オリエンテーション合宿はいかがでしたか。今、皆さんの素晴らしい感想を読みながら、気を引き締め直しているところです。
さて、学年通信第一号の内容は新入生オリエンテーションのおさらいです。あなた方が研修中につかみ取った何かを忘れないためにも、この第一号は、よく目につくところに貼り付けておいて下さい。初心忘るべからずです。

保護者の皆様には、あらためまして本校の教育にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

明秀日立生の皆さんへ

一校訓の実践を

建学の精神。これを持つということは歴史ある学校の証拠だと言いました。創設者は白梅の姿に「明るく、清く、凛々しく」の建学の精神を見出し、「至誠・敬愛・自律・勤勉・協力」の校訓を掲げました。校訓は、実践を通してその意味をつかんでいって下さい。実践したことは身に付きます。



一明秀日立生＝白梅

我々は「寒列を冒し、天下の春に魁けて、馥郁たる香りを放つ」白梅です。我々が目指すものは、白梅＝千秋の人です。

一学びとは自分の可能性を広げること／比較するのは昨日の自分

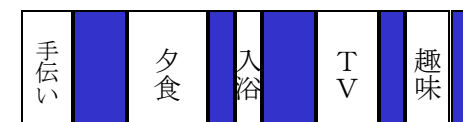
あなたたちの知識と意識を高めるのが我々の仕事です。
あなた方は、自分を変えたい、高めたいという気持ちを表して下さい。比較するのは昨日の自分です。自分を変えたいという気持ちで行動すればチャンスが生まれます。動けば動くほどチャンスは生まれます。授業を受けるのも動くことのひとつです。但し、自ら動かなければならない(内発的動機)。さもなければ、「出席する」ことが目的(外発的動機)となり、授業で新たな知識を得、自分を高めるといふ本来の目的を見失ってしまいます。内発的動機づけは、人生を一変させます。
学校へ来れば、自分が解らないところを解っている人に教わることができる。自分がいち早く解ったことを解らない人に教えることができる。やる気が出ない時、引き上げてくれる誰かがいる。やる気のない誰かを、引き上げてあげることもできる。
互いが互いを引き上げること、これを「切磋琢磨」と言います。これは1人ではできない。
学校とは学ぶところです。授業そのものが学びです。先生がいて生徒がいる。それで初めて授業が成立する。どうすればいいかわからない時、どうして良いかの目鼻が付き、適切な振る舞いができるのは同じ場所で学ぶ仲間と先生がいるからです。

努力して思い描いたことができた瞬間、あなた方は予想以上のものを得ています。世界が空間的に広がっています。高みに登ると言ってもよいでしょう。あなた方の可能性が広がっているのです。それが知るといふこと。学ぶということ。知る・学ぶということ、それまでのおのれの無知や無能を思い知るということでもあります。だから、解らないことを解らないままにしない、できないことをできないままにしないはならないのです。

自分が思い描く目標を達成するための努力は、孤独の中で行うことの方が多い。しかし、周りにはそれぞれの目標に向かって努力する仲間がいます。実は1人ではない。みんなそれぞれに頑張っていると、励まされ、励まし合う場所があなた方の集う学校です。

一これからの学習計画「一括型学習から隙間型学習へ」

これまで多くの人は、学習時間を一括して設ける学習計画(下左図)を立てていました。この一括



型学習に対し、日常生活に絶対不可欠な要素、夕食、入浴、T

V(趣味)等を軸として固定し、その隙間(網掛けの時間帯)を学習に充てるのが隙間型学習(上右図)です。同じ3時間を学習に充てたとしても、隙間型の方がはるかに密度の濃い学習ができます。

隙間の時間ひとつに対し、今日やるべき事をひとつでもいいから取り組みます。やり終えたら、ダイアリーもしくはリテラシーノートにチェックしましょう。もし、途中で時間が来たとしても、続きは次の隙間でやります。きりの良いところまで終わらせることによって、軸になる時間を狂わせ、生活習慣を損ねてしまうことの方こそ恐れるべきです。生活の軸はインターバルとなってスムーズに次の学習へとあなた方を導きます。予想以上に勉強が捗ります。勉強は隙間でやります。

一『進路について』

ここまでの話は、『進路について』の講話にあった、高校生活において大事なこと3つ「学校に来ること」「授業をきちんと受けること」「生活をきちんとすること」に要約できます。中でも肝心なことは「生活をきちんとすること」です。これが損なわれれば、「学校に来ること」も「授業をきちんと受けること」も難しくなります。進路は一年生からの積み重ねの結果として現れます。

一『生活について』

『生活について』の講話では、その「生活をきちんとすること」を損なう大きな要因に携帯電話があるという話でした。深夜までメールをして生活のリズムを壊してしまうこと、そしてメールひとつで生活＝人生が狂わされること。

言葉には力があります。たった一言で人を傷つけることもできるし、励ますこともできます。特にメールには表情がありませんから、受け取る側に誤解を生じさせることもあり、使用には十分な配慮を必要とし、注意を払わなければなりません。

一「明秀日立ダイアリー」「明秀日立リテラシーノート」の活用を

S T, S, Aコースの皆さんには「明秀日立ダイアリー2009」を、Bコースの皆さんには「明秀日立リテラシーノート」の活用方法を説明しました。この内容については、紙面の関係上割愛します。不明な点等あれば、質問して下さい。隙間型学習の実践とダイアリー、リテラシーノートの活用があれば、あなた方自身が驚くほど、学力が向上することでしょう。

連休に総復習を

5/19(火)～21(木)に高校生活最初の考査(中間考査)が迫っています。この連休中にはこれまでの総復習も忘れずに行い、考査に備えましょう。実りある連休となるよう祈っています。連休明けには、皆さんの自信に満ちた笑顔が見られることを楽しみにしています。